▼タイトル▼

助動詞　入門

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If you are lucky, whales can ［　　　］ seen from shore.  
  
（名古屋学院大）

▼選択肢▼

T① be

② is

③ was

④ been

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「運がよければ、海岸からクジラが見えますよ。」  
助動詞canのあとは**動詞の原形**がくる。be動詞の場合は原形beを使う。本問は、助動詞を使った受動態の文で、can be seen「見られることができる」＝「見える」という意味になる。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

You ［　　　］ finish the work today. Tomorrow is OK.  
  
（北星学園大）

▼選択肢▼

T① don’t have to

② don’t must

③ must

④ need

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「今日その仕事を終わらせる必要はない。明日でかまわないよ。」  
２文目に「明日でいい」とあるので、１文目は「今日終わらせる必要はない」という意味になることがわかる。don’t have to ～「～する必要はない」を使って表す。  
③ mustは文意が成り立たない。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

The ceremony starts at one o’clock. We ［　　　］be late.  
  
（北星学園大）

▼選択肢▼

① don’t have to

② have got to

T③ must not

④ need not

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「その式典は１時に始まります。私たちは遅れてはいけません。」  
mustとhave toはどちらも「～しなければならない」と同じ意味を表すが、否定文にすると、意味が異なることに注意。  
must not ～「～してはいけない」  
don’t have to ～「～する必要はない」  
② have got to ～ は「～しなければならない」。③ need not ～ は「～する必要はない」という意味で、このneedは助動詞。助動詞needはふつう否定文と疑問文でしか使わない。

▼問題文▼

日本文の意味にあう英文になるように、空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

彼女の話は本当であるはずがない。  
Her story ［　　　］ be true.  
  
（－）

▼選択肢▼

① won’t

T② can’t

③ may not

④ mustn’t

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
助動詞canには「～することができる」（能力・可能）のほかに、「～してもよい」（許可）、「～することがありうる」（可能性）などがある。本問は、否定形cannot[can’t]で「～のはずがない」という否定の確信を表す用法。

▼問題文▼

日本文の意味にあう英文になるように、空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

部屋に入ったら、帽子をぬいだほうがいい。  
When you enter the room, you ［　　　］ take off your cap.  
  
（－）

▼選択肢▼

① had to

② used to

③ mustn’t

T④ should

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
助動詞の意味をしっかり覚えて、きちんと使いわけられるようにしておこう。  
① had to ～「～しなければならなかった」（＝ have to ～ の過去形）  
② used to ～「よく～したものだ」  
③ mustn’t[must not] ～「～してはいけない」  
④ should ～「～すべきだ」＝ ought to ～